

様式 F-7-2

科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）実績報告書（研究実績報告書）

所属研究機関名称		大妻女子大学	機関番号	32604
研究代表者	部局	社会情報学部		
	職	講師		
	氏名	松本 早野香		

1. 研究種目名 若手研究(B) 2. 課題番号 15K16098

3. 研究課題名 「語り」の蓄積からコミュニティの物語を出力する地域デジタルアーカイブの構築と運用

4. 補助事業期間 平成27年度～平成30年度

5. 研究実績の概要

本研究は、地域コミュニティに属する人の「語り」に着目し、これを蓄積し文脈に応じて出力、それによって「コミュニティの物語」を提供する新しいタイプの地域アーカイブを構築することにより、地域における情報技術の活用に新しいモデルを提案するとともに、地域コミュニティにおける「語り」の果たしうる役割を実証的に研究するものであった。対象となった地域は可住面積の6割が東日本大震災の津波被害をうけた宮城県亶理郡山元町であった。この町には東日本大震災発生10日後から放送を開始し、2017年3月31日まで放送を継続した臨時災害放送局「りんごラジオ」があった。この臨時災害放送局の特徴は、町内で取材した局オリジナルの番組を長期にわたってほぼ毎日放送していたことであった。放送局そのものはもとより、放送記録についても地域におおいに貢献しうると考えられた。しかしながら臨時災害放送局の記録はそのような機能を有しておらず、デジタル化されていないものも含め、さまざまな記録が連結されることなく独立して存在していた。そこで本研究では、人々の「語り」を重視してきたりんごラジオの放送記録をデジタル化し、この記録データを中心とするアーカイブシステムを構築し、復興記録の地域における活用について調査した。具体的には、放送記録のデジタル化と整理をおこない、アーカイブシステムに搭載した。その放送記録の分析により、臨時災害放送局が扱うべきコンテンツのモデルを示した。また、ラジオ局閉局後の記録の扱いの状況・町民による記録の活用等について、ラジオ局内での調査や地域住民に対する聞き取り調査を実施した。それらの結果から、東日本大震災後に運営が長期化した臨時災害放送局のメディアとしての位置づけなどについて考察した。

6. キーワード

アーカイブ 地域 臨時災害放送局 東日本大震災 山元町 りんごラジオ

7. 研究発表

〔雑誌論文〕 計1件（うち査読付論文 1件／うち国際共著 0件／うちオープンアクセス 0件）

1. 著者名 Kuniomi Shibata, Akira Hattori, Sayaka Matsumoto	4. 巻 7
2. 論文標題 Communication App for Children with Hearing and Developmental Difficulties	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 The Journal on Technology and Parsons with Disabilities	6. 最初と最後の頁 180-197
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

2 版

〔学会発表〕 計0件

〔図書〕 計1件

1. 著者名 横幹<知の統合>シリーズ編集委員会	4. 発行年 2018年
2. 出版社 東京電機大学出版局	5. 総ページ数 144
3. 書名 とともに生きる地域コミュニティ	

8. 研究成果による産業財産権の出願・取得状況

計0件（うち出願0件／うち取得0件）

9. 科研費を使用して開催した国際研究集会

計0件

10. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

-

11. 備考

松本早野香 / 専任教員 / 社会生活情報学専攻
https://www.sis.otsuma.ac.jp/dept1/dept1_4/matsumoto/